

# Therapeutic Drug Monitoring (TDM) を用いた塩酸バンコマイシン(VCM)の 初期投与設計に関わる整形外科病棟担当薬剤師の役割に関する研究のお 知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年2月24日～2025年3月31日

## 〔研究課題〕

Therapeutic Drug Monitoring (TDM) を用いた塩酸バンコマイシン(VCM)の初期投与設計に関わる整形外科病棟担当薬剤師の役割

## 〔研究目的〕

VCM の初期投与設計や薬物治療モニタリング(TDM)を通じた整形外科病棟における薬剤師の介入が目標血中濃度達成率に関与するか明らかにすることです。

## 〔研究意義〕

帝京大学医学部附属病院は全病棟に薬剤師が配置されており、TDM 対象薬の投与設計を通して感染症治療に携わっています。また、MRSA 骨髄炎に対して VCM を使用する際は、早期の有効血中濃度の達成が求められることから初回投与時の負荷投与がガイドラインで推奨されています。そのため本研究では、VCM の初期投与設計や TDM を通じた整形外科病棟における薬剤師の介入が目標血中濃度達成率に関与するか明らかにするという研究意義があります。

## 〔対象・研究方法〕

対象患者：2014年1月1日から2019年12月31日に帝京大学医学部附属病院の整形外科病棟においてVCMを投与した患者様

研究方法：診療録を用いて、薬剤師による初期投与設計介入率、初回投与時の負荷投与の有無、TDM 介入率、初回 TDMにおける目標血中濃度達成率(10-20 µg/ml)、初回 TDMにおける年齢別の目標血中濃度達成率について調査を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕 情報は匿名化します。

研究実施中の保管：調査したデータは薬剤部内の所定のパソコン内にパスワードをかけて保存します。

研究終了後の保管：倫理委員会事務局にデータセット等を提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後、廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:薬剤部 係員 大西 永里子

研究分担者: 薬剤部 部長 安野 伸浩

所属: 帝京大学医学部附属病院 薬剤部

住所:173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 7818]